

関西医科大学大学院講座・がんプロセミナー

DEVELOPING A NOVEL THERAPY FOR PANCREATIC CANCER USING DROSOPHILA

—ショウジョウバエを活用した膵癌の新規治療法の開発—

日時

令和7年11月11日（火曜日） 13:30～

会場

関西医科大学枚方キャンパス

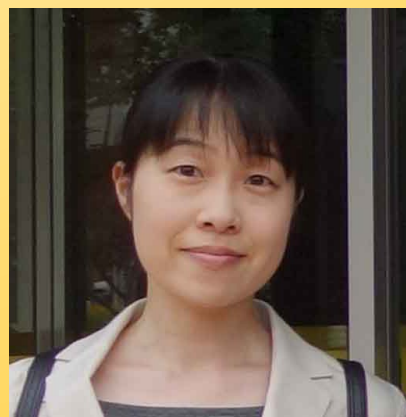
関医タワー セミナー室1

（〒573-1191 大阪府枚方市新町2丁目2番3号）

演者

大塩 貴子

（北海道大学・遺伝子病制御研究所・
がん制御学分野・助教）



司会

松浦 徹

（関西医科大学・病理学講座・准教授）

【概要】

演者の大塩先生は、ショウジョウバエを活用した膵癌の新規治療法の開発に取り組んでいます。ハエは哺乳類と遺伝的保存度が高く、繁殖も容易で世代時間も短く、迅速に研究を推進できます。また、ストックセンターから各種遺伝子に対するノックダウンやノックアウト系統を容易に購入でき、がん治療薬に対して哺乳類と同様の応答性を示すことも知られています。これらの特性を活かし、大塩先生の研究室では膵癌患者の遺伝子型を模倣した「膵癌遺伝子型モデルハエ」を作出し、個体レベルでの網羅的遺伝学および化合物スクリーニングを進めてきました。今回のセミナーでは、このモデルを用いた解析からマウスモデルでの検証まで、一連の研究成果を通じて新たな膵癌治療戦略の可能性について紹介します。

【共催】 阪神5大学サステナブルがん人材養成プラン

【問合せ先】 関西医科大学がんプロ事務局

ganpro◆hirakata.kmu.ac.jp / 072-804-2305

・メールアドレスは◆を@に変換してください。

・学外からの参加希望の場合は事前にお申込みください。



阪神5大学サステナブルがん人材養成プラン

文部科学省採択事業
次世代のがん
プロフェッショナル養成プラン